

里地里山保全・再生の特徴的取組 個票 A (対象地域の概況)

NO.143			みくさやま 三草山		生物地理区分		アカマツ林	
					地域区分		都市周辺	
所在地	都道府県	大阪府	地形 条件	○ 1.山地		2.山麓部	3.丘陵・台地	
				4.低地		5.その他()		
	市 町 村	能勢町	環境 要素	1.二次林		2.草地	3.水田	
				4.畑		5.小川・水路	6.ため池	
	集落名称等	上杉、長谷		7.池沼・湿地		8.社寺林	9.人工林	
			10.その他()					

環境要素(対象とする地域に含まれる環境要素)

:面積割合が最大のもの ○:それ以外の環境要素

自然環境・景観保全、国土保全関連の法指定状況	自然環境、景観、文化等の観点からの選定・評価
・大阪府立北摂自然公園 ・大阪府自然環境保全地域(保全計画書において、三草山野生動植物保護地区に定めて、特定外来種や有害駆除の対象となる鳥獣をを除くすべての動物種が保護すべき野生動植物種となっている)	
特徴的な動植物や生息環境	対象地の景観の現状
二次林:日本の分布の東限となっているヒロオビミドリジミを初めとする多様なチョウ類	

	
撮影時期: ○年○月 写真の説明: 三草山が生息の東限となっているヒロオビミドリジミ	撮影時期: ○年○月 写真の説明: 里山の作業、落ち葉かき

NO. 143		みくさやま 三草山	取組 主 体	1.地域コミュニティ(集落・組合等)
所在地	都道府県	大阪府		2.団体・企業・学校等
	市町村	能勢町		○ 3.行政による支援施策の活用
	集落名称	上杉、長谷		4.多様な主体が参加・連携する組織体
				5.その他

取組 主体	主な主体の名称		大阪みどりのトラスト協会、城好会		
	その他の主体の名称		大阪府		
目的 ●：主 ○：その他	●	3.環境教育や自然体験、エコツーリズムの場としての利用			
		自然観察会	＊	自然観察会の実施	
		環境教育・学習活動			
		里地里山体験・環境保全	＊	【ミドリシジミ類の保全のための里山の管理】 三草山には日本に生息するミドリシジミ類の蝶（ゼフィルスという愛称でよばれる小型の蝶）25 種のうち 10 種が生息している。その中でも、ヒロオビミドリシジミは、府内唯一の生息地であり、日本の分布の東限になっている。このヒロオビミドリシジミの保全のため、ヒロオビミドリシジミの幼虫の餌であるナラガシワを育てる活動を展開している。この活動は大阪みどりのトラスト協会が主催し、ボランティアを募り、ナラガシワの実生の保育、林床植生を育成するための落ち葉がきなどの里山の環境保全活動を行っている。	
		農林業体験活動	＊	里山の管理のために伐採した木を利用したシイタケ作り	
		エコツアー			
		その他			
	○	4.野生動植物やその生息地の保全・管理			
		取組内容		【チョウ類の保全活動】 ヒロオビミドリシジミの保全のために、ナラガシワの実生の保育や植樹、萌芽更新を促進させるための伐採等を行い、ナラガシワ林を育成している。 また、林内環境の整備や、不法採集防止のための巡視活動、専門化による生態調査等を行い、ヒロオビミドリシジミに限らず、チョウ類の多様性の確保を目指している。観察会や看板の設置等により一般の方々への普及啓発にも努めている。	
	連携・協働による 取組内容・役割分担等			・大阪みどりのトラスト協会：三草山の地上権を設定し、トラスト地として巡視、来訪者への指導を実施している。 ・ボランティア：巡視、指導の補助、萌芽更新地の伐採、落ち葉集め等の作業の実施している。 ＊なお「大阪みどりのトラスト協会」は大阪府や大阪府民、企業が出資して設立された財団である。	
取組の特徴や強調したい点			協会がヒロオビミドリシジミの保全のために主催する様々な活動にボランティアが参加することで、落ち葉集めや、樹木の伐採などの活動ができ、そのことが里山全体の環境を良好にしている。現在、協会では里山に息づく様々な生き物の保全のため三草山周辺の遊休農地を再生し、水田耕作に依存した生き物の復活にも取り組んでいる。		

取組の概要	トラスト地において、チョウの保全のためにナラガシワをはじめとする落葉広葉樹林の管理を行い、里山環境を維持	課題グループ
事例の特性	生息地保全に必要な維持管理作業(落ち葉集め、樹木の伐採)の継続、協力のネットワーク化	●野生生物 ●仕組
取組の中で他の地域の参考となる点	トラスト活動によって地上権を設定することが、チョウ類をはじめとした三草山全体の自然環境の保全へと繋がっている	